

にじのかけはし

令和3年12月 第6号
上海日本人学校虹橋校
片桐 里香

希望が丘小学校のみなさん、你好（ニーハオ）！12月8日の「命を学ぶ日」は、それぞれの学年で「命」について考える一日になったことと思います。そして、6年生ピリブ学年のみなさんは、総合創作劇「昔、長岡で戦争があったよ 2021」を大成功させたそうですね。これまでの学びをたくさんの方々に伝えることはできましたか？実は、希望が丘の皆さんが打ち上げた希望の「白菊」を、私はライブ中継で見ることができました。上海で見る希望の「白菊」は、胸の奥底にジーンと響きました。ぜひ、この日のことを胸に刻みながら、これからもがんばってほしいと願っています。

さて、もうすぐ冬休み！今回は、上海の年末年始についてのおはなしをしたいと思います。

聖誕快樂！🎄

中国語でクリスマスのことを「聖誕節」（シャンタンジエ）といいます。

聖（シャン）・・・イエス・キリスト
誕（タン）・・・誕生日
節（ジエ）・・・おまつり

という意味です。ちなみに、「聖誕快樂」（シャンタンクワイルー）は、「メリークリスマス」という意味になります。

中国でクリスマスを祝うようになったのは、15年くらい前から。わりと最近のことです。クリスマスが近づくと、街はイルミネーションとツリーが飾られ、とてもきらびやかになります。

右上の写真は、花市場の様子です。以前より数は減りましたが、上海には食べ物・花・布など専門の市場がまだまだ残っており、市民の生活を支えています。市場ですから、商店で買うより断然安い！そして新鮮です。私もよく、近所の市場で買い物をしています。顔を覚えてもらうと、ちょっとおまけもしてくれます。

そんな中でも、花市場はクリスマスツリーやツリー用の飾りであふれかえります。上海には欧米人も多く住んでいるため、たくさんの方が花市場でクリスマスを祝うための飾りを買って求めています。日本ではなかなか見ることのできない本格的なクリスマス雑貨がズラリと並べられ、花市場だけでも十分クリスマス気分を味わうことができます。



街に出ると、あちこちでクリスマスマーケットも開かれています。この大きなツリーは、南京路という上海有数の繁華街で行われているクリスマスマーケットのもので、大小さまざまなクリスマスマーケットが開かれています。温かい飲み物や食べ物、クリスマス雑貨、手袋や帽子など、手作りの商品を販売する小さなお店がたくさん並んでいて、とてもにぎわっています。



また、ホテルやマンションでもクリスマスイルミネーションで飾られ、とってもキラキラしています。右下の写真は、私のマンションのレセプションです。家に帰ってくると、毎日サンタがお出迎えをしてくれます。いいでしょう？ただし、9時で消灯。夜遅くに帰ってくると、ちょっと怖い…（笑）。



ちなみに、中国では、小さい子どものいる家ではケーキを食べたりプレゼントをもらったりするそうですが、小学生以上にはサンタさんはこないのだそうです。お友だちとにぎやかに過ごすのが、上海のクリスマスなのだそうですよ。

新年快樂！でも、1月1日は正月ではない？

クリスマスが終わると、すぐにお正月です。…が、中国の新年は、1月1日ではありません！

中国では、旧暦の1月1日が「新年」になります。つまり、西暦の1月1日ではなく、旧暦の1月1日に新年のお祝いをする、ということです。そして、毎年元旦の日が変わります。今年（来年？）の元旦は、2022年2月1日です。元旦の日が毎年変わるなんて、ちょっとおもしろいですよね。

お正月のことを「春節」（チュンジエ）と言います。お正月が過ぎると、もうすぐ春が来ますよ、という意味です。

クリスマスが終わり、お正月の準備が始まると、街は真っ赤になります。中国でお祝いの色といえば赤。お正月の飾りも、右上の写真のようにめでたい赤がふんだんに使われています。この飾りを玄関や窓に貼り、福を呼び込むのが中国のお正月です。



また、上海のお正月に欠かせないのは、「湯圓」（タンユエン）という熱々のゴマ団子です。このゴマ団子を家族で食べます。家族円満という意味がこめられているからです。ちなみに、日本では冬至にかぼちゃを食べますが、上海では、冬至の日もお正月も小正月もこの湯圓が食べられます。



皆さんにとって、令和3年はどんな年でしたか？新しい年も元気に過ごせるよう、そして、新しい学年に向かってのスタートを切れるよう、ステキな冬休みを過ごしてくださいね。

それではみなさん、よいお年を！再見（ツアイ チェン）！